

トピック(テーマ)		猪坂直一	
ねらい		上田自由大学経営担当者でありその専務理事で、自由大学の事務所が自宅に置かれたのが猪坂直一である。社会教育運動として注目された自由大学は、県内外にできたことから各自由大学の連名組織ともなる自由大学協会を上田自由大学に設置、その専任理事となり月刊『自由大学雑誌』を発行し、自由大学運動の発展のために尽力した。片や本業は蚕の原種の試験研究、蚕器具の改良や発明、雌雄分器の改良などのほかに蚕種雑誌(株)編集部長として雑誌『蚕糸』の発刊や自身による雑誌『生糸の国』を創刊した。また、『新撰養蚕教本』や『最新養蚕手引』、『民主主義背の精神』『上田城物語』『上田近代史』など各分野の執筆活動をしている。	
キーワード		信濃黎明会 『自由大学雑誌』 倉沢運平 雑誌『蚕糸』 雑誌『生糸の国』	
概要を知るためのツール	1	書名	回想・枯れた二枝 信濃黎明会と上田自由大学
		著者名	猪坂直一／著
		出版社	上田市民文化懇話会
		出版年	1967
		内容紹介	著者は、「大正デモクラシー期の信州の片隅に花咲き、ささやかな実をつけ、やがて枯れていった二枝(信濃黎明会と上田自由大学)」の「回想記」としているが、両方に関わりをもっていただけにそれぞれの設立の経過や運営上の問題などについての具体的な記述は、理解を深めるのに大変役立つ基本文献である。
資料リスト	1	書名	上田自由大学とその周辺
		著者名	長野大学
		出版社	郷土出版社
		出版年	2006
		内容紹介	この中で、小平千文「上田自由大学を創設し運営した青年たち一金井正・山越脩蔵・猪坂直一」として猪坂直一の履歴や活動に触れている。
	2	書名	猪坂家の由緒と生い立ちの記
		著者名	猪坂直一／著
		出版社	私家版
		出版年	1992
		内容紹介	猪坂直一は、蚕種商の父と母のもとに長男として誕生した。家族史であり自分史となっている。
	3	書名	蚕都上田を築き支えた人びと
		著者名	上田小県近現代史研究会
		出版社	上田小県近現代史研究会
		出版年	2010
		内容紹介	蚕種業・製糸業・養蚕の蚕糸業部門とそれに立脚して栄えた教育・文化・政治の分野で活躍した人々、有名無名を問わず多くの人を取り上げた。その人として猪坂直一の記録がある。
	4	書名	自由大学雑誌
著者名		自由大学協会	
出版社		自由大学協会	
出版年		1925	
内容紹介		1925.1.10創刊してから12.10第11号まで発刊された。猪坂による「上田自由大学の回顧」が創刊から第7号まで6回にわたり掲載されている。	

インターネット	1	サイト名	エコール上田地域図書館情報ネットワーク
		URL	<a href="https://www.echol.gr.jp/">https://www.echol.gr.jp/</a>
		概要	猪坂直一の著書など関連資料を探ることができる
	2	サイト名	国会図書館サーチ
		URL	<a href="https://iss.ndl.go.jp/">https://iss.ndl.go.jp/</a>
		概要	猪坂直一に関する資料を探ることができる
新聞	1	見出し	地に在りて(13) 一石路(3) 山越脩蔵への手紙
		発行機関	信濃毎日新聞 朝刊14ページ
		年月日	2007.5.11
	2	見出し	学ぶところ未来へ(3) 地域の良さ見直す場に
		発行機関	信濃毎日新聞 朝刊2ページ
		年月日	2014.10.18
コメント	『猪坂家の由緒と生き立ちの記』は私家版であり入手が困難なため、信濃黎明会や上田自由大学関係だったら『回想・枯れた二枝』に、蚕種関係だったら『生糸の国』から研究と調査をされたい。		